

IV. 鉄道事故等と再発防止措置

1 事故・輸送障害の発生件数

【事故等報告（鉄道事業法・鉄道事故等報告規則に基づく報告）】

(件数)

		平成18(2006)年度	平成17(2005)年度	平成16(2004)年度
事故	列車衝突事故	0	0	0
	列車脱線事故	0	0	0
	列車火災事故	0	0	0
	踏切障害事故	2 (1)	0	2 (2)
	道路障害事故	0	0	0
	鉄道人身障害事故	10 (9)	3 (3)	4 (4)
	鉄道物損事故	0	0	0
輸送障害		8 [1]	17 [2]	10 [3]
合計		20	20	16

※ () 数は、線路内立入り等による人身障害事故件数 [内数]

[] 数は、自然災害件数 [内数]

2 主な事故内容 [平成18(2006)年度実績]

○鉄道人身障害事故

■発生日時

平成18(2006)年10月17日 18時27分頃

■発生場所

本線元町駅

■事故概要

車掌による扉操作時の安全確認疎漏(扉挟み発車、転倒負傷[打撲])

車掌経験年数 2ヵ月

■再発防止対策

- ・新人車掌の添乗指導回数の増と指導方法の精査
- ・扉開閉時、確認ポイントの具体的作業手順を追加

○踏切障害事故（第三者障害）

■発生日時

平成19(2007)年3月24日 20時12分頃

■発生場所

小曾根道踏切道（本線鳴尾駅～武庫川駅間） 車両通行禁止踏切道

■事故概要

電動車イス使用者が当該踏切道横断時、電動車イス車輪をバラスト上へ脱輪。軌道内から動けず通過列車と接触（接触負傷[骨折]）

■再発防止対策

- ・車イスが車禁踏切道の中央を通行し易いように踏切両端（道路側）付近の車止めを移設
- ・踏切事故防止の啓発活動の実施
- ・踏切支障報知装置（非常押ボタン）の設置

○自然災害（雷害発生）[1件]

■発生日時

平成18(2006)年8月22日 14時19分頃

■発生場所

本線尼崎センタープール前駅構内

■事故概要

落雷により、尼崎センタープール前駅でP T C（Programed Traffic Control／列車運行管理システム）による制御不能及び連動操作卓の故障

■措置並びに再発防止対策

- ・電子連動制御パソコンの取替えによる復旧
- ・雷害対策の検討

3 輸送障害

(件数)

		平成18(2006)年度	平成17(2005)年度	平成16(2004)年度
鉄道係員	信号			
	その他	1	1	
車両・鉄道施設	車両故障	3	5	2
	転てつ装置故障			
	閉そく装置			
	信号装置故障			
	踏切保安設備			
	その他	2	6	3
鉄道外	妨害			
	線路内支障	1		1
	線路内立入り		1	
	踏切道			
	火災			
	その他	1 [1]	4 [2]	4 [3]
		8	17	10

※ [] 数は、自然災害件数 [内数]

4 インシデント [平成18(2006)年度実績]

【インシデント報告（鉄道事業法・鉄道事故等報告規則に基づく報告）】

インシデントとは、「鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態」のことであり、下記の通り報告内容が定められていますが、平成18(2006)年度の発生はありませんでした。

(件数)

閉そく違反	信号違反	信号冒進	本線逸走	工事違反	車両脱線	施設障害	車両障害	危険物漏えい	その他	計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0